

# モータースポーツファン感謝デー

## Honda F1復活祭



夢、再び。  
SUZUKA 2015 GRAND PRIX



# 鈴鹿サーキット イベントレポート



公式イベントガイド「エンジョイガイド」

## 【イベント概要】

- イベント名称：2015モータースポーツ ファン感謝デー Honda F1復活祭
- 日 程：2015年3月7日(土)・8日(日)
- 主 催：株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 協 力：鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会  
NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会
- 会 場：鈴鹿サーキット国際レーシングコースおよび  
ピット・パドックエリア・園内各所
- 天 候・動 員：3月7日(土)雨 9.7℃ 北東の風1.8m/s 23,000人  
8日(日)快晴 14.8℃ 北西の風5.5m/s 34,000人
- 取 材 者：81媒体 156名

本格的なモータースポーツシーズン開幕を告げる恒例のイベント「2015モータースポーツファン感謝デー」が、“Honda F1復活祭”をサブタイトルに掲げて開催されました。

Hondaの7年ぶりのF1参戦、しかも名門マクラーレンとのジョイントとあって、大きな期待が寄せられる中、豪華ゲストやマシンが鈴鹿サーキットに集結。F1を中心に4輪・2輪各カテゴリーにちなんだ多彩なイベントが展開されました。



鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/>

## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

# Honda F1復活祭 1

今年、ついに復活する伝説のタッグ、マクラーレン・ホンダ。その歴史的デビューを直前に控え、最強時代を築いたマシン群、そしてF1でのジャパンパワーをテーマに豪華ゲスト陣をむかえて「Honda F1復活祭」が開催されました。

## 【オープニング】



今宮純、中嶋悟、J.アレジ、D.ヒル、森脇基恭の各氏(右から)によるトークとマクラーレン・ホンダ 3台によるデモラン(山本尚貴選手、伊沢拓也選手、塚越広大選手がドライブ)が華やかなオープニングを飾りました(7日)。

## 【グリッド&ピットウォーク】



コース上にはフォーミュラマシン(7日はF1、8日はスーパーフォーミュラ)そしてピットでは各カテゴリーの4輪・2輪マシンが展示されての豪華な「グリッド&ピットウォーク」(7、8日)。

## 【F1ジャパンパワー】



(左から)中野信治、鈴木亜久里、中嶋悟の各氏がミナルディM192、ティレル019、ラルースLC90(手前から)をデモラン。80年代、90年代のF1界でのジャパンパワーを再現しました(7、8日)。

## 【マクラーレン・ホンダの衝撃】



‘80年代後半“最強”の称号をほしいままにしたマクラーレン・ホンダ。その全盛期のマシン、MP4/4、MP4/5、MP4/6(写真右)をそれぞれ中嶋悟(写真左中)、J.アレジ(同左)、D.ヒル(同右)の各氏がドライブする豪華なデモラン「マクラーレン・ホンダの衝撃」(7日)。

## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

## 【マクラーレン・ホンダ 動き始めた時間】



日本期待の若手ドライバー 山本尚貴、塚越広大、伊沢拓也各選手(右から)がそれぞれマクラーレン・ホンダ MP4/6、MP4/5、MP4/4をデモンした「マクラーレン・ホンダ 動き始めた時間」(8日)。



フィナーレを飾ったのは中嶋悟、J.アレジ、D.ヒル各氏がそれぞれマクラーレン・ホンダ MP4/4、MP4/5、MP4/6(手前から)を駆ってのデモン「マクラーレン・ホンダ 伝説再び」(8日)。

「Honda F1レジェンドマシン展示」(下記参照)で行われた小倉茂徳氏によるトーク&解説「伝説の物語」。第1期、第2期、第3期をテーマに各日3回行われました。

### PICK UP 1

鈴鹿サーキット史上最多となる25台のHonda F1マシンが一堂に会しての特別展示「Honda F1レジェンドマシン展示」がGPスクエアで行われ、半世紀以上におよぶHondaのF1挑戦の歴史が紹介されました(7、8日)。



第1期(1964～1968年)のマシン。



第2期(1983～1992年)のマシン。



第3期(2000～2008年)のマシン。



2015年の参戦に向けてテストに使用されたマシン、マクラーレン・ホンダ MP4-29H 1X1(2014)が特別展示されました。

## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

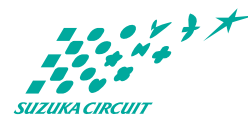
## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

# レーシングコースイベント1



国際レーシングコースを舞台に、4輪・2輪のニューマシンや豪華ゲストが多数登場してのスペシャルイベントが多数展開され、新たなシーズンへの期待が高まりました。



今年スーパーフォーミュラにフル参戦する小林可夢偉選手。スーパーフォーミュラ公開テストでの走り(8日)。



スーパーフォーミュラが疾走するコースをバスで遊覧走行いただいた「サーキットサファリ」(8日)。



息詰まる熱戦が展開された模擬レース「スーパーフォーミュラ オープニングラップ」(8日)。



「スーパーフォーミュラ オープニングラップ」終了後、全選手と中嶋悟氏がグラウンドスタンド前に集合、シーズン開幕を控えてのセレモニーが行われました(8日)。

## PICK UP 2

J.アレジ氏の子息で今年FIA-F4クラスに参戦するジュリアーノ・アレジ選手が、鈴鹿サーキットで行われている「フォーミュラEnjoy」マシンで登場。観客の大きな声援を受けていました(8日)。



## PICK UP 3

6度目の戦いとなった「永遠のライバル 星野一義 vs 中嶋 悟」。鈴鹿サーキットレーシングスクールの卒業生がレースで使用するマシンでのレースは、星野氏が2連勝を飾りました(7、8日)。



## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

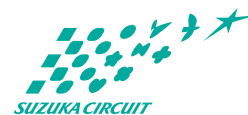
## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

# レーシングコースイベント2



7月26日に決勝が行われる“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐。真夏の祭典をめざして早くも公開テストが多くのお客さまの前で行われました(7日)。



約20台の8耐マシンが参加してのトワイライトデモレース。ル・マン式スタートからライトオンでのゴールまで華麗な走りをお楽しみいただきました(7日)。



Kawasakiが総力をあげて開発したスーパーマシンNinja H2R (サーキットバージョン 写真)、Ninja H2 (公道バージョン)のデモランが柳川明選手(写真)、渡辺一樹選手により行われました(7、8日)。



市販車ベースのマシンで争われるスーパー耐久シリーズ。ふだんは行わないライトオンでの夜間走行をトワイライトデモレースで披露いただきました。



超絶なマシンコントロールが多くの熱狂的なファンを持つD1。今回は3台同時走行の究極パフォーマンス[D1 ULTIMATE 3]をホームストレート上で繰り広げました(7、8日)。



2014年、アメリカで行われた国際大会「パイクスピーク・ヒルクライム」で電気自動車改造クラスで優勝を果たしたMiEV EVOLUTION IIIを増岡浩選手がデモラン。静かなながらも驚異のスピードを見せてくれました(8日)。

## PICK UP 4

2輪レースの世界最高峰MotoGP™。今年本格復帰を果たすSUZUKIに加えてHonda、YAMAHAのワークスマシンが登場。青木宣篤、中須賀克行、高橋巧各選手(右から)が素晴らしい走りを見せました(7、8日)。日本GPは10月11日、ツインリングもてぎで決勝を迎えます。



## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

ピット・パドック周辺およびピット上のホスピタリティラウンジなどでも「モータースポーツファン感謝デー」ならではのスペシャルイベントが数多く開催されました。



VIPスイートご利用の方を対象にピットビル2Fホスピタリティラウンジで行われたスペシャルトーク。D.ヒル、川井一仁各氏ら豪華ゲストが出演しました(7、8日)。



この週末から販売が開始されたF1日本グランプリ(9月27日決勝)前売りチケットを購入したお客さまを対象に行われたトークショー。今宮純、鈴木亜久里、中嶋悟各氏(左から)の豪華ゲスト陣がとっておきのトークを展開しました(7、8日)。



コチラレーシングファンクラブ会員対象に行われた「Honda Collection Hall ピットツアー」。小倉茂徳氏の解説でマクラレン・ホンダのピットを訪問できるプレミアムイベントです(7、8日)。



各ピットでは、ふだん間近で見ることのできないマシンが数多く展示されました。写真は2015年全日本ロードレース選手権JSB1000クラスにワークスとして参戦を発表したYAMAHA YZF-R1(7、8日)。

**PICK UP 5** 3月7日(土)、ピットビル2Fホスピタリティラウンジで鈴鹿サーキット2015年活動内容の記者発表会が行われ、スーパーフォーミュラにフル参戦する小林可夢偉選手が登場、会場を大いにわかせました。



**PICK UP 6** 鈴鹿サーキットの女性スタッフ「鈴鹿サーキット女子部」が企画した、オリジナルデコレーションクッキーづくりを競う「アイシングクッキー選手権」(ホスピタリティラウンジ 7、8日)。中野信治選手(写真)や中野真矢氏も出演してスイートで華やかなイベントとなりました。



## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

鈴鹿サーキットでは1987年よりモータースポーツの発展、振興、ならびにファン拡大につながる顕著な活躍、活動、功績を残された個人・団体を対象に「モータースポーツ顕彰」を、また大きな活躍が期待される個人を対象に「ライジングアワード」を設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2014年度も、東京運動記者クラブモータースポーツ分科会、JMS(日本モータースポーツ記者会)、JRPA(日本レース写真家協会)、RRPA(日本ロードレースプレス協会)の皆さまのご協力のもとに表彰者・団体を選出し、顕彰を決定いたしました。その授与式がポディウム(表彰台)で3月8日(日)に行われました。



受賞者の皆さん(敬称略)  
左から 中須賀克行、TOM'S、ウエストレーシングカーズ株式会社、鳥羽海渡

## モータースポーツ顕彰(2014年に顕著な活躍をした個人・団体など)

### 中須賀克行選手(なかすが かつゆき)

鈴鹿サーキットで開催した全日本ロードレース選手権JSB1000クラスでポール・トゥ・ウインを達成。2レース制で開催された最終戦「MFJグランプリ」では、両レースともポールポジションを獲得。レース1で優勝、レース2では2位フィニッシュし、3年連続5度目となる全日本ロードレース最高峰クラスチャンピオンを獲得した。3連覇は史上3人目、通算5度のタイトル獲得は歴代最多記録となる快挙である。

## モータースポーツ特別顕彰(2014年に特別な活躍をした個人・団体など)

### TOM'S

創立40周年となる2014年、8月のSUPER GT「インターナショナル鈴鹿1000km」ではポール・トゥ・ウイン。11月のスーパーフォーミュラ「JAF鈴鹿グランプリ」でもレース1で2位、レース2で優勝。シリーズでは、スーパーフォーミュラはドライバー・チームのWタイトル、SUPER GTでもランキング2・3位を獲得するなどの活躍をみせた。

## モータースポーツ功労顕彰(長年にわたり、モータースポーツの発展に貢献した個人・団体など)

### ウエストレーシングカーズ株式会社

鈴鹿市に拠点を置く4輪コンストラクターとして、1973年の開業以来1000台以上のレーシングマシンを開発・製造。「鈴鹿シルバーカップ」FL500クラスで中嶋悟氏にチャンピオンをもたらすなど数多くの名車と名選手を輩出するとともに、入門クラス、初心者向けクラスの活性化に貢献した。

## 2015年ライジングアワード・4輪 (2015年に活躍が期待される4輪選手)

### 松下信治選手(まつした のぶはる 21歳) ※渡欧中のため授賞式は欠席

2011年に鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS-F)を首席で卒業。翌年にはフォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ)でルーキーながらチャンピオンに。2014年には参戦2年目で全日本F3選手権シリーズチャンピオンに輝く。F1ドライバーを数多く輩出したGP2のオフシーズンテストに参加するなど期待を集めている。

## 2015年ライジングアワード・2輪 (2015年に活躍が期待される2輪選手)

### 鳥羽海渡選手(とば かいと 14歳)

2014全日本ロードレース選手権J-GP3クラスでは、鈴鹿での「MFJグランプリ」を含めシーズン最多の3度の優勝を果たし、シリーズ3位を獲得。またアジア地域での若手選手の発掘と育成を目的とする「アジアタレントカップ」にも参戦、初代チャンピオンに輝くなど今後の活躍が期待されている。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733



レースファンならずとも楽しめるイベントやパートナー様、地元諸団体の企画など多彩な企画が園内各所で実施されました。



三菱自動車による登坂デモンストレーション。お客さまに助手席からその高い走行性能を体感いただきました (GPスクエア 7、8日)。



レーシングシアターでは「Honda F1 挑戦への軌跡」と題して各世代のHonda F1マシンが展示されました。



GPスクエア「コチラレーシングブース」で3歳～小学生を対象に行われたマクラーレン・ホンダ MP4/5搭乗体験 (7、8日)。



ジョイフル広場で小学生以下を対象に行われたフェラーリ F1マシンタイヤ交換体験 (7、8日)。



ポディウム (表彰台) で行われた鈴鹿サーキットクイーンの交代式 (8日)。



熱いイベントの余韻が残る国際レーシングコースをご自分の車で体験走行いただいた「マイカーラン」 (8日)。

## PICK UP 6

鈴鹿市を中心に県内5市1町で構成される「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」はGPスクエアにブースを出展、三重県の魅力をアピールいただきました (写真左)。NPO法人「鈴鹿モータースポーツ友の会」には、子どもたちにレーシングスピードでの同乗体験を実施いただきました。



## SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【PRブースご出展各社】



株式会社エイチ・ピー・アイ



株式会社M-TEC



エンケイ株式会社



株式会社エンドレスアドバンス



オーゼットジャパン株式会社



小倉クラッチ株式会社



株式会社カワサキモータースジャパン



株式会社クラウン警備保障



シーシーアイ株式会社



スカーパーJSAT株式会社



株式会社スマート



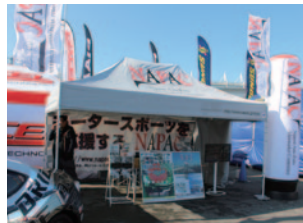
株式会社ディクセル



トップタワー株式会社



日本サン石油株式会社



日本自動車用品・部品アフターマーケット (NAPAC)



株式会社日本レースプロモーション



有限会社NUTEC Japan



PIAA株式会社



株式会社プリヂェストン



ブリッド株式会社



本田技研工業株式会社/  
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



三菱自動車工業株式会社



ヤマハ発動機株式会社



株式会社レイズ

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社エフ・シー・シー



株式会社オートバックスセブン



株式会社クラウン警備保障



シーシーアイ株式会社



昭和シェル石油株式会社



株式会社デンソー



トップツアーズ株式会社



日本アイ・ピー・エム株式会社



日本サン石油株式会社



日本情報産業株式会社



日本特殊陶業株式会社



ビー・エム・ダブリュー株式会社



株式会社ブリヂストン



本田技研工業株式会社



株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



株式会社マイナビ



三菱自動車工業株式会社



メルセデス・ベンツ日本株式会社



ヤマハ発動機株式会社



横浜ゴム株式会社

【サンプリング】



J SPORTS 昭和シェル石油株式会社

【イベントガイドご出稿】



A4 カラー 6p 49,000部発行

株式会社マイナビ

【販売ブースご出店各社】

- 株式会社イー・スマイル
- 有限会社エムズクラブ
- 株式会社M2style
- 株式会社KARZ
- 株式会社チームロッソ
- 株式会社P-4
- 有限会社フォレスト
- 株式会社プロ・フィット スポーツینگ

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

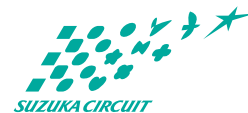
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている  
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2015年3月1日現在

SUZUKA CIRCUIT  
7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101  
TWIN RING MOTEGI  
120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009  
TOKYO OFFICE  
HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733